

月読命 第二段階 v. 1.0.0

第一段階に続き、癒しに関する技法と、石に関する技法をご紹介します。

月の安らぎ

概説：ムーンストーンを用いて、自分自身の心の傷を癒す技法です。

効果：

1. 心と魂を鎮め、穏やかにする。
2. 心の安らぎを得る。

手順：

1. 石を左手に持ち、満月を心に思い描きながらリラックスした姿勢をとって下さい。寝ころんでも構いません。
2. 月光が自分の頭頂から体中に広がるようにイメージして下さい。
3. そして癒しや安らぎを感じ取って下さい。自分が十分と思うまで月光に包まれて下さい。
4. 終了は自分自身の感覚で決めて下さい。最低でも10分は行って下さい。長くても30分がよいでしょう。
5. 終了したら、直ちに流水で石をすすいで下さい。最低で1分くらい、最大で5分です。石から疲れがとれたと思った時点で終えて構いません。

注意：

*この癒やしに使うムーンストーンは、できる限りこの技法専用の石をご用意下さい。というのも、この技法は、場合にもよりますが、自分自身では断ち切れないネガティブな記憶や感情を石に移し、流水で流すことによって断ち切ることがあるからです。やむを得ず第一段階で使った石をこの技法で使わなければならないときは、流水で念入りにすすぎ、最低でも一度は月光浴をさせましょう。この技法で使った石を第一段階の技法に使うことは避けて下さい。やむを得ないときは、流水でさらに念入りにすすぎ、最低でも一度は月光を浴びせることが必要です。この技法で使う石の月光浴は満月が最適ですが、満ちる月

なら上弦から満月まで、欠ける月なら満月から下弦までにして下さい。この場合、月光にあてるのが重要なので、月が出ている時にして下さい。

*願いを込めた石は、この技法に使用しないで下さい。使った場合は、願いが消えます。

*この技法は、癒しを得てから石を流水で浄化するまでがひとつのサイクルになります。アクセサリ類（指輪、ネックレス、ピアス、イヤリングなど）は、長時間流水にあてると錆びて変質したり、洗浄中に壊れたりする可能性があるため、決して使わないで下さい。持ちやすく、洗うときに手の滑りにくい原石（母岩など別種の鉱石が付着していない未加工の石）やタンプル（磨き石）をお勧めします。ブレスレットなら全てムーンストーンで構成されたものを使って下さい。

*ここで言うムーンストーン（月長石）は、ペリステライトやラブラドライト（いずれも別種の長石）ではありません。天然のムーンストーンに限ります。大きさは問いません。天然のムーンストーンであるなら、品質も問いません。

*癒しが終わったら、直ちに石をすすぐようにして下さい。もし寝てしまったり忘れた場合は、念入りにすすぎましょう。丸一日はおかないようにして下さい。万一時間が経過したときは、さらに念入りにすすいで下さい。

*思い描く満月の色は、白（ふつうのムーンストーンの色）が最適ですが、黄色でもクリーム色でも構いません。

*この技法を行う時間帯は、日没後に月の出る時間から深夜24時まで、時期的には上弦の月から下弦の月までの期間が最適です。最良は満月の時間帯になります。月光を直接浴びることができればより良いのですが、必須ではありません。

*この技法を寝ころんだ姿勢で行うときは、頭頂のほうに月があるとイメージして下さい。

*満月の夜に「満月の儀式」と「月の安らぎ」を連続で行いたい場合、まず「満月の儀式」を行い、翌日に「月の安らぎ」を行うようにして下さい。どうしても同日に行いたいときは、「満月の儀式」のあとに、一時間程度あけてから、「月の安らぎ」を行うようにして下さい。

*これは自分自身の心の傷を癒やします。他者にはできません。他の方を癒したい場合は創始者から伝授を受けて下さい。但し、その場合は、既に第一段階の伝授を受けている必要があります。

月の光

概説：言霊とシンボルを用いて、疲れている石をリフレッシュさせる技法です。疲れていない石には穏やかな力を授けます。

効果：

*石の疲れを取り、本来の力を取り戻させます。

手順：

1. 疲れない程度に意識を集中させて下さい。
2. 言霊を唱えます。一種の宣言文のようなものと考えて下さい。

例：「月読命、どうか、さやけき月の光で、この石に必要な力を授けてください。」

もしくは短く、「月光でこの石に力を授かります。」など。

3. 心の中で石の上にシンボルを描きます。まず三日月を描き、その上から月読命と漢字で書き、三回、ツクヨミノミコトと唱えて下さい。
4. その後で右手をかざし、月光が手から溢れていると想像して下さい。
5. 手をかざす時間は、長くて5分です。石の状態や大きさにもよるので、ご自分でこのくらいと感じる程度で結構です。

注意：

*一度に一つの石だけにしてください。並べて全部だと力がばらつきます。避けて下さい。複数の石に行く場合には一つずつ上記を行って下さい。ただし、ブレスレットはひとつと考えて結構です。

*行う時間は、夜に限ります。上弦の月から十六夜までの期間に行ってください。特に効果的なのは満月を挟んだ三日間、月齢十四から月齢十六までになります。

*欠ける月は不向きです。欠ける月のときにこの技法で浄化した石には、絶対に願いを込

めないで下さい。

*願いを込めた石にはこの技法を使用しないで下さい。願いが消える場合があります。

*宝石類や貴金属にも、種類に応じて一定の効果があります。

*石を机や床に置いた状態でも、左手で持った場合でも効果は同じです。自分にあった方法をお使い下さい。

*言霊の内容は、自分にとってしっくりくるように変更していただいて結構です。ただし、エゴに関することや、ネガティブな言葉は決して用いないようにして下さい。

*頻度は、一ヶ月に一度くらいで充分です。あとは、ご自身の判断で調整して下さい。

*複数の石に連続でこの技法を行うときは、体調に注意して無理をしないようにして下さい。集中力を使うので、慣れるまでは多少疲れるかもしれません。ご自分のペースを守って、ゆっくり丁寧に、決して無理をしないよう心がけて下さい。

アチューンメント

月読命のエネルギーの伝授に興味をお持ちの方は、以下のサイトに内容と手順を記載しておりますのでご覧下さい。なお、この伝授はお申し込みを受けた方に行うだけで、伝授された方がさらに第三者に伝授することはできませんので、あらかじめご了承下さい。

<http://bluemoon.livedoor.biz/archives/51044955.html>

この技法は蒼月紫野オリジナルのもので、特定の思想および宗教団体とは関係ありません。

著作権表示

Copyright 2008 蒼月紫野

<http://bluemoon.livedoor.biz/>

1. この文書は、蒼月紫野が著作権を有しています。
2. この文書は、Creative Commons Public License "AttributionNoncommercialNo Derivative Works 3.0Unported" もしくはそれ以降のバージョンの利用許諾に基づいて配布いたします。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/3.0/>

現時点での日本語訳の最新バージョンは以下をご覧ください。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/legalcode>

3. 上記利用許諾により、この文書は、この著作権表示を含めて、一切の改変を加えず、非営利で配布する場合に限り、再配布を許可します。この文書の一部または全部を、使用もしくは改変・二次創作をすることで、新たな文書を作ることは禁止されています。

4. 上記の利用許諾に関する簡単な説明は、以下のページをご覧ください。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/3.0/>

現時点での日本語訳の最新バージョンは以下をご覧ください。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/>

更新情報

2008年9月30日 初版 ver. 1.0.0